

校長室だより

国立市立国立第七小学校 校長 森田弘文

平成26年4月8日

NO.1

ご入学おめでとうございます

サクラの花びらが舞い、春の彩りが天地に満つる中、ピカピカのランドセルを背負った1年生60名が、国立市立国立第七小学校にご入学されました。誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、この感激の日まで、いろいろなご苦労があったかと思えます。お子様が風邪をひいて高い熱を出しおろおろしたり、思わぬケガをしてハッとさせられたりと……。様々な思いが浮かんで消えていることでしょうか。今日のお子様の晴れ姿はとても立派で、お喜びもひとしおのことと思います。校長として、大切なお子様をお預かりする責任の重さを非常に強く感じております。今日から始まる小学校生活において、国立第七小学校の教職員が責任をもってお預かりいたします。

学校と家庭・地域が、理解と信頼のきずなをしっかりと結ぶことがとても大切なことであると常々感じております。お子様の健やかなご成長・豊かな心の育成・確かな学力伸長のために、力を合わせて努力して参りましょう。ご協力・ご支援よろしくお願い致します。

なお、入学式当日、1年生の子ども達のためにお話しした内容とイラストを下に記します。



「朝のおはようの挨拶をしているところですね。七小の子ども達はとても元気に挨拶します。挨拶するとたくさんのお友達ができるんだよ。」



「お教室でお勉強しているところでですね。先生が優しく楽しく教えてくれるから大丈夫。たくさんたくさん、手をあげましょうね。」



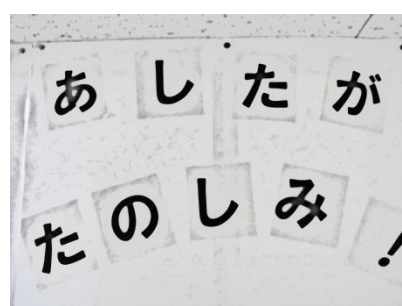
「休み時間です。友達みんなでたくさん遊んで下さい。お外に出てたくさん遊ぶと、とても元気になります。風邪なんかひかなくなります。」



「みんなで給食を食べています。おいしい給食をありがとうという気持ちでたくさん食べましょう。みんなで食べるととてもおいしいですよ。」



「おそうじしています。みんなで仲良く力をだしあい、教室やろうか、学校中をきれいにしましょう。おそうじすると心もきれいになります。」



「学校の楽しい一日が終わってしまいました。あしたのしみがたのしみ!それが学校です。あしたから元気に学校にきましょう。」

ご進級おめでとうございます

4月7日、明るい春の日差しの朝。校庭の桜が国立第七小学校の子ども達一人一人の進級をお祝いするように、咲き誇っていました。始業式では、まず、新しくなった「教育目標」についてお話ししました。その後、転入された先生や職員の方々の紹介等を行いました。

教育目標は、知育・徳育・体育の観点から示されたもので、どこの学校にも設置されていますが、実際にその文言や内容などがあまり知られていない場合がよくあるようです。本校も、それらの反省のもと、新年度より、わかりやすくより親しみやすいものにするために『かしこく・やさしく・げんきよく』と改めました。子どもでも覚えやすく短くしました。今後、あらゆる場面でこの教育目標が根本となります。地域・保護者の皆様も一日も早く覚えて頂ければ嬉しく思います。

その後、生活指導主任より、新年度に当たり大切なお話がありました。まず、『つう』と『じ』と『あい』の文字を見せ、その後、児童達にいろいろと考えさせるものでした。すぐわかる子どもも多くいました。『つう』と『じ』と『あい』の文字は、どんな意味なのでしょう。詳しくはお子様にお聞き下さい。

「つう」→通学路

「じ」→時間

「あい」→挨拶